

ひまわり教室だより



令和 5年 4月 6日 (木)
足立区立加平小学校 校長 倉島 敬和
ひまわり教室 影山・篠原・山本・峰

加平小学校には、コミュニケーションの教室「ひまわり教室」があります。ひまわり教室とは、どのような学習をするのか疑問を感じている保護者の方もいらっしゃるかもしれません。今回は、ひまわり教室とはどんな学習をする場なのかご紹介したいと思います。



ひまわり教室って、どんなことをする場所なの？

ひまわり教室は、お子さんの良さを発揮するお手伝いをするための教室です。個別指導等を行うことで以下の成長が期待されます。

- ・自分の思ったことを上手に伝えられ、友だちと楽しく関われるようになる。
- ・イライラをコントロールして、落ち着いた気持ちで過ごせる時間が増える。
- ・集中するポイントがわかり、授業や宿題に集中しやすくなる。
- ・整理整頓や片付けのコツや、習慣が身に付く。
- ・苦手なことを集中的に学び、理解度が深まる。
- ・リラクゼーションや気持ちの整理を通じて、緊張や不安が軽減する。等



途中で教室を抜けると、周りの子から特別な子、って思われなから…。

ひまわり教室以外にも、科目の習熟度に応じて、個別に抜き出して対応する場面があります。その際には、教室を抜けることを自然に受け止めていける声かけをしていきます。

現在、教室に来ている子どもたちも教室を抜ける時には「行ってきます。」と先生に伝えてから来ています。



個別指導

お子さん一人一人の「得意」や「苦手」に合わせ、「困っていること」に対して指導しています。

(例)



個別指導は、先生と児童が一对一で行います。

【困っていること】

友達と仲良くしたいけど、カッとなってすぐに手が出ちゃう…



【ひまわり教室の個別指導の一例】

アンガーマネジメント

どんな状況でイライラしたのかを丁寧に聞き取ります。状況を視覚化して確認をし、怒りを感じた時にどうすればよいのか一緒に考えます。また、深呼吸をする、数を数える、一旦その場を離れるなど、イライラしてしまった時に対応する具体的な方法も併せて学んでいきます。



小集団指導

小集団指導では、月ごとにねらいを定め、それを楽しく学べるような活動をしています。



小集団指導は、先生（約2人）と児童3～4人で行います。

めあて：最後まで聞こう、相手のことを考えよう 活動：「スリーヒントクイズ」

【活動内容】

活動は2つの段階があります。まず、友達の発表を最後まで静かに聞き、よく考えて答えることができるように活動を行います。「最後まで静かに聞くと、正解することができた！」「わたしがクイズを出しているとき、Aさんは私を見ながら聞いてくれていた。真剣に聞いてくれていた様子が伝わってきて、とてもうれしかった」など、望ましい話の聞き方を身に付けることをねらいとして行います。

次に、友達が正解しやすいヒントを考える活動を行います。例えば『果物』、『黄色』だけのヒントだけではまだ何の果物か分かりませんが、『細長い』と、友達が想像しやすいヒントを出すなど、相手の気持ちを考えて発言する態度を身に付けることをねらいとして行います。また、友達が正解できた時は、ボーナスポイントがもらえるルールを設定し、積極的に友達のことを考えて発言する態度を養います。

【授業の様子】

始めは、先生や友達がヒントを言っている途中でも、「もう分かった～」と言って、答えを発表し、間違えてしまうことが見られました。最後までヒントを聞いて正しく答えられた経験を繰り返すことで、最後まで相手の話を聞いてから答えることができてきました。振り返りの時間に、Bさんは「先生や友達の話を聞くことは、とても大切なんだと気付いた！これからはもっと友達の話を聞きます！」と発表していました。

また、友達に分かりやすいヒントを出すことができていたCさんは、友達からコツを聞かれると、「友達の気持ちになればいいんだよ。わたしが友達だったら、どうヒントを出せばいいか何回も考えてヒントを考えるといいよ！」とアドバイスしていました。さらに、振り返りの時間に、「友達のことを考えて話をする大切さに改めて気付きました。これからも友達のことを考えながら話します！」と発表していました。

ひまわり教室についてのご質問や、もっと詳しく聞きたいことがありましたら、些細なことでも構いませんので、ご相談ください。

Tel：03-3884-0716 担当：影山

